

ごあいさつ

嘉島町は、昭和 63 年にまちづくり構想「水辺の郷をめざして」を策定し、本町の湧水や河川等の豊かな水環境を活かしたまちづくりを進めてきました。

平成 13 年には、「水辺の郷づくり」の基本的な考えを継承し、真の豊かさを実感できる安定した地域社会の実現が、今後の目指すべき重要事項と考え、「豊かさ実感!水の郷—嘉島—」を将来像とする第 4 次総合計画を策定し、本町の「水」を守り・活かし・楽しむ中で、豊かさの実感につな



がる自然、生活環境、心、経済、人の結びつきのそれぞれの豊かさを高めていくことを目標にして、企業誘致や都市計画事業、福祉対策などの各種施策を推進してきました。

そのような中、今、住民を取り巻く社会経済状況は、わが国においては、少子高齢化の進展とともに本格的な人口減少社会を迎えており、加えて、昨今の世界同時不況や新型インフルエンザの流行など、世界的な社会経済の変化の速さや動きの幅が大きくなっています。

一方、日常生活においては、「個」を中心とした様々な新しい生活様式や暮らしのスタイルが変わり、人のものの考え方も一様ではなくなりつつあり、「豊かさ」の捉え方は多様化してきています。むしろ、これからのまちづくりにおいては、「豊かさ」の具体的な中身を明確にし、それに向かって進む揺るぎない指針といったものが求められています。

このようなことから、第 5 次総合計画においては、「活力」や「うるおい」更には「豊かさ」を通して実感する「水」に囲まれた「住んで良かった」といえるまちづくりを考え、『活力とうるおいに満ちた田園文化都市—住んで良かった!水の郷 嘉島—』を基本理念としました。

この基本理念を踏まえ、「活力と魅力あふれるまちづくり」「安全で安心して暮らせるまちづくり」「人」が主役のまちづくり」の 3 つを今後 10 年間で達成するためのまちの姿である将来像として設定し、その実現化を目指すこととしました。

計画の策定に当たっては、総合計画審議会委員、各種団体代表者、まちづくりワークショップ参加者の皆様をはじめ、多くの町民の皆様から貴重なご意見とご協力をいただいたことに深く感謝申し上げます。

本計画を今後のまちづくりの指針として、町民の皆様とまちづくりを進めてまいりたいと考えておりますので、町民の皆様方のお一層のご理解とご支援をお願い申し上げます。

平成 23 年 3 月

嘉島町長 荒木 泰 臣